

友だち
募集中



主な
栽培品目

いちご
(紅ほっぺ・やよいひめ)
他野菜等35品種



豊中市では珍しいハウス栽培

- Q 農業を始めたきっかけについてお聞かせください。
- A もちろん幼少期は祖父や父の手伝いはしていましたが、小学校に勤めてからは土日しか家にはいません。でもその土日でもバスケットボールを教えていて、本当にお正月の3日間くらいしか休みがなく、ほとんど家の手伝いはしていませんでした。本格的に農業を始めたのは私が59歳の頃です。というのも父がその時に他界し、畑があつたもんですから、継続して残していかなければと思い、自然と農業の道に進みました。小学校勤めはそれを機に辞めました。あまり知識などはありませんでしたが、その頃、近隣の原田地区にはたくさんの方の農業のプロと言われている方がいたので、どんな肥料を使っているのかなどを聞いてみることにしました。そこから教わろうと通っていました。5年を過ぎた頃に、ようやく本格的にいいものが出来てきたと思うようになりました。平日はほとんど私一人ですが、一昨年からイチゴを始め、今では土日は朝早くから夜真つ暗になるまで息子らが手伝ってくれるようになり、昨年からは北摂イチゴアカデミーに息子の嫁が通い始めてくれ、週に4・5日は畑に来てくれるようになりました。周りも少しずつイチゴに興
- Q どうしてイチゴを豊中で始めようと思ったのですか。
- A 白イチゴを山口県で一番初めに作られた方が現在豊中に住んでおり、その方が農業委員会の事務局に来て豊中でイチゴハウスが出来ると有地がないかと探しに連れてきたところに、たまたま出会わせ、転機かなと思つたのが4年前です。その方の教え子が南河内郡の河南町でイチゴハウスを20棟くらい持つており、そこに勉強しに行つたらどうやと言つてもらいました。それで3年前に1年間ほとんど毎日のように河南町に通つてイチゴ栽培のノウハウを全部教えてもらい一昨年から始めました。
- Q 農業をしていて大変だったことはありませんか。
- A 自分の生活リズムが変わつたことです。とういうのも、朝5時過ぎにはハウスに来て作業をしています。冬は朝も夜も真つ暗なのでハウスの中にライトをつけて作業しています。朝イチゴ作業が終わつても自分の畑に行つたりして一日中動き回っています。当然20時過ぎには寝るようにもなりました。
- Q 消費者の方や農産物直売所へメッセージをお願いします。
- A 他のイチゴと食べ比べてみて下



地域の農を支える生産者

豊中市服部地域

JA大阪北部 理事
営農経済委員会 委員長

はんだますひろ

半田 益宏さん
(71歳)



へタまで赤く熟した
イチゴがたくさん

大都市豊中で 完全完熟の イチゴで勝負。

- Q 味を持つてくれているように感じ、今ではみんな守っています。
- Q 生産のこだわりについて
- A 現在、豊中市の農業経営者協議会の会長をしています。そのまとめ役でもあるので、自分でもしっかりと野菜を作らないといけないという使命感のもと、農業祭や豊中祭りをメインに出荷できるように年間35品種程、栽培しています。大根・白菜を始め、ニンジン・ジャガイモ・タマネギなどは学校給食などに供給していますが、それ以外に「豊中でもこんなに珍しい野菜を作っているんだ」と知って味わって貰いたいと思つて作っています。例えば顔くらの大ききの「とろとろステークナス」だったり、「アイスプラント」「子持ち高菜」です。もちろんイチゴも豊中では珍しいと思つてもらえると思います。イチゴで言うと、今は基本を忠実に肥料は先生に教えてもらった通りにしています。あとは、どんなものが必要なかは逐一聞いています。時間を決めて自動で液肥が流れるようにしたり、大きい実がたくさんできるということと去年からはハウスの中に二酸化炭素の発生装置をつけました。そのお陰で収穫量が1.5倍に増えました。色々こだわつて日々試しています。
- Q さい！市販のスーパードで売られているイチゴはへタがどつちかという白っぽい。でもここで作っているイチゴは完全完熟です。当然糖度が高いし、消費者にとつては一回食べると忘れられない味です。そういうイチゴ作りを目指しています。このイチゴを食べたら他のイチゴが食べられないというお声も聞き、そう言ってもらえるのが一番嬉しいです。初めて購入される方に必ずしていることがあつて、まず1個食べてもらっています。そして、気に入ったら購入してもらおうようにしています。ハウスに購入しに来て下さるのであれば午前中の早い時間が狙い目です。販売の詳しいスケジュールは公式LINEアカウントで確認して下さいね。予約販売も行っていますのでお気軽にお問い合わせ下さい。
- Q これからの目標や夢をお聞かせください。
- A 今後、収穫量を増やしていきたいです。そのためには、病気にかからないようにすることや色々ありますが、そのへんのことを確実にできるように、あとこれから2・3年は勉強をしていかなければいけないと思います。ハウスをこれ以上広げて私も家族も大変なので、この現状を維持しながら、どう増やしていくかが課題ですね。